

幼稚園だより

1 月号

令和3年 1月 12日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

貴重な体験

園長 岩崎 昇

新年あけましておめでとうございます。令和3年もよろしくお願いいたします。

先週、緊急事態宣言が再度発令されました。大変厳しい中での3学期のスタートとなりました。幼稚園としても、再度保育の内容、環境等を見直し、感染の防止に最善を尽くしてまいりたいと考えています。

さて先月は、役員の保護者の皆様のご協力によりもちつき会を実施することができました。内容を制限しての開催となりましたが、貴重な体験として何としてでも子どもたちに経験させたい、と考えての実施でした。わずかな時間でしたが、「よいしょー」のかわいい声がらくだ公園にも響いていました。

また、子ども会（クリスマス）も実施することができました。サンタさんの登場に、場内の興奮は最高潮に達しました。さらに年長いるか組は、表現参観を実施。保護者の方の声にもありましたように、劇、合唱、合奏どれも成長の跡を感じていただくことができ、本当に良かったと思っています。何より、どの行事をとってもそもそも実施することができたこと、本当に良かったと思い、皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・室内や戸外で、友だちや教師と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・遊びの中でいろいろなイメージを膨らませながら、ごっこ遊びを楽しむ。

《4歳児：こあら組》

- ・自分らしく表現したり、友だちと一緒に表現したりしながら、学級で一つのことに取り組む楽しさを感じる。
- ・季節の遊びに触れる中で、友だちと言葉のやり取りを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・自分なりの目標をもち、繰り返したり試したりしながら力を発揮しようとする。
- ・園生活に見通しをもち、自分から進んで遊びや活動に取り組む。

